
株式会社メガチップス

2023年3月期 第3四半期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

目次

1. 2023年3月期・3Q業績報告 3
2. 2023年3月期業績予想 9
3. 各事業の取り組み 11

2023年3月期・3Q 業績報告

2023年3月期・3Q 連結業績(P/L)サマリー

当第3四半期連結累計期間(4月～12月)の売上高及び営業利益は前年同期に比べ減少したものの、ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が第1四半期に比べ第2四半期および第3四半期と堅調に推移しました。ゲーム機分野以外の新たな受託開発売上が増加し業績に貢献しました。なお、当第3四半期連結期間(10月～12月)の営業利益は、対前年度同期比12.8%増となりました。

当第3四半期連結累計期間の経常利益については、持分法適用の関連会社であるSiTime Corporationの持分法による投資利益が4億1千万円(前年同四半期は約1千万円の持分法による投資損失)、為替差益が6億2千万円それぞれ発生したこと等により、前年同期に比べ増加しました。

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比減の46億円となりますが、前第3四半期は、関連会社であるSiTimeの株式を一部売却したこと及びSiTimeが新株発行増資を実施したことにより、特別利益として関係会社株式売却益が292億円発生しております。

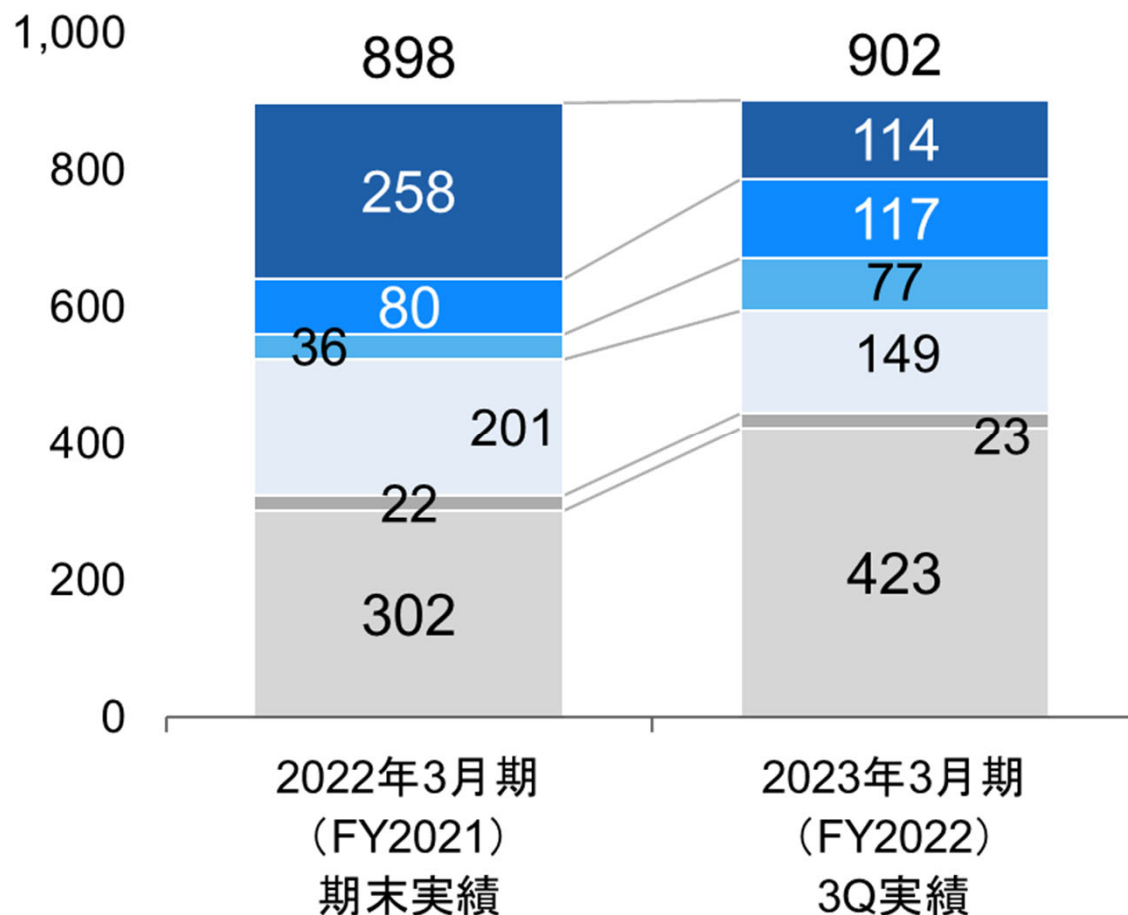
(単位:百万円)		2022/3期 (FY2021) 3Q実績	2023/3期 (FY2022) 3Q実績	対前年 同期比
連結	売上高	61,376	56,070	▲8.6%
	営業利益	5,862	5,542	▲5.5%
	経常利益	5,924	7,003	+ 18.2%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	26,248	4,678	▲82.2%
	1株利益(円)	1262.82	243.92	▲80.7%

※2022年3月期 3Q末為替レート:米ドル 115.02円

※2023年3月期 3Q末為替レート:米ドル 132.70円

2023年3月期 3Q 財政状態(資産)

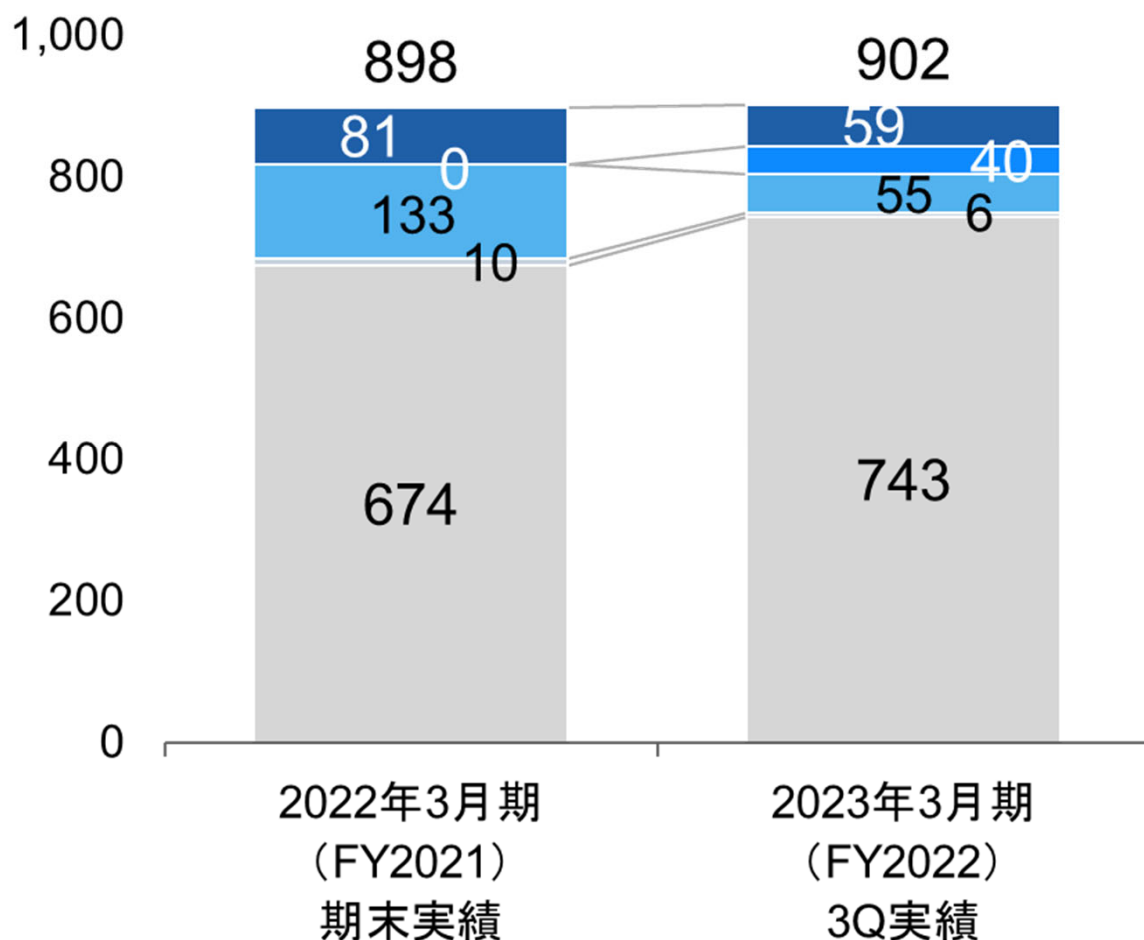
(単位:億円)



(単位:億円)	増減 (FY21→FY22)	増減率 (増減÷FY21)
現金及び預金	▲143.6	▲56%
受取手形及び売掛金	+37.0	+47%
たな卸資産	+41.0	+113%
その他の流動資産	▲52.5	▲26%
無形、有形固定資産	+1.1	+5%
投資その他の資産	+120.8	+40%

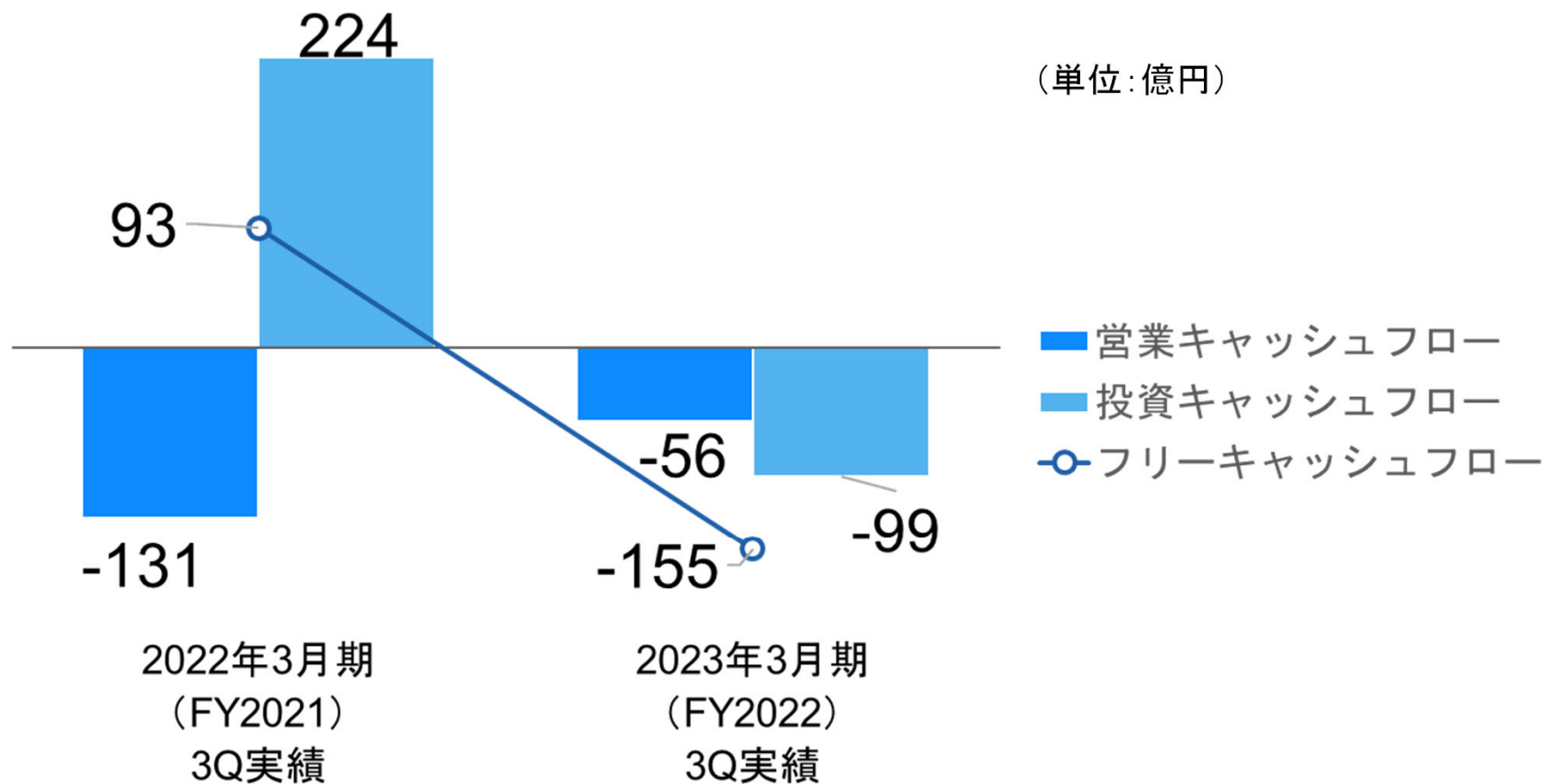
2023年3月期 3Q 財政状態(負債・純資産)

(単位:億円)



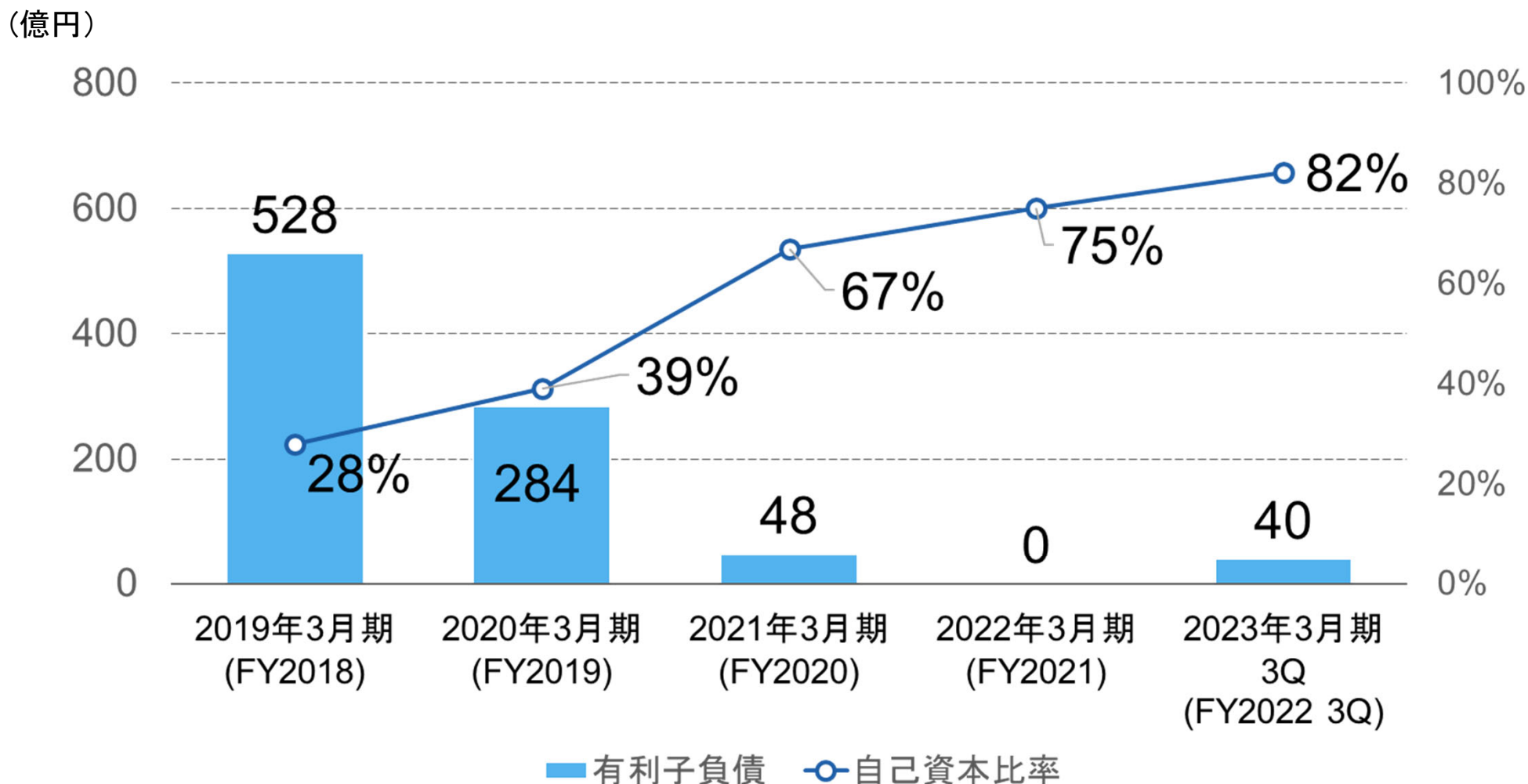
(単位:億円)	増減 (FY21→FY22)	増減率 (増減÷FY21)
支払手形及び買掛金	▲21.8	▲27%
有利子負債	+40.0	—
その他流動負債	▲78.0	▲59%
その他固定負債	▲4.7	▲45%
純資産	+68.3	+10%

2023年3月期 3Q キャッシュフロー



2023年3月期 3Q 自己資本比率

財務体質の強化、自己資本比率の向上に取り組んでおります。



2023年3月期 業績予想

2023年3月期 業績予想

中長期の成長分野への投資および安定した利益の確保を目指します。

(単位:百万円)		2022/3期 (FY2021) 通期実績	2023/3期 (FY2022) 通期予想	2023/3期 (FY2022) 3Q実績	対 通期予想 進捗率
	売上高	75,256	72,000	56,070	77.9%
	営業利益	7,030	7,200	5,542	77.0%
連結	経常利益	7,857	7,200	7,003	97.3%
	親会社株主に帰属する当期純利益	27,544	4,700	4,678	99.5%
	1株利益(円)	1,349.01	245.17	243.92	99.5%

※ 2022年3月期は、関連会社であるSiTimeの株式を一部売却したこと及びSiTimeが新株発行増資を実施したことにより、特別利益として関係会社株式売却益が292億円発生しました。

※ 2022年3月期 期末為替レート:米ドル 122.39円

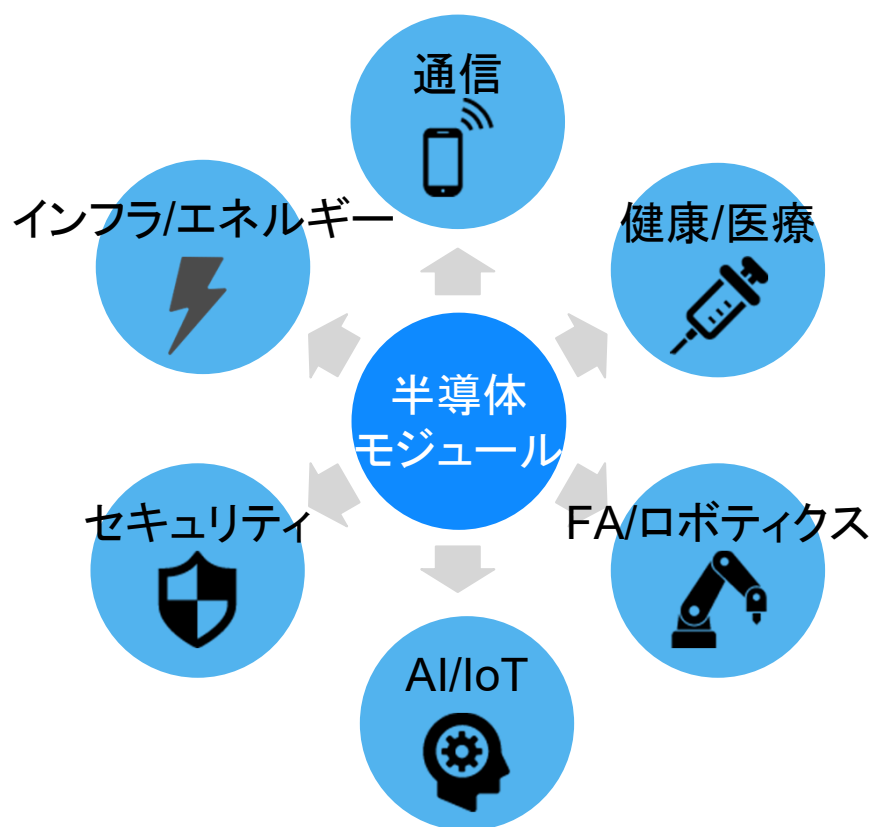
各事業の取り組み現状

新規事業の取り組み

米国を中心にスタートアップとの戦略的提携や投資を行い、新規事業の探索を行います。

事業環境

- 半導体用途が多角化、分野拡大の機会

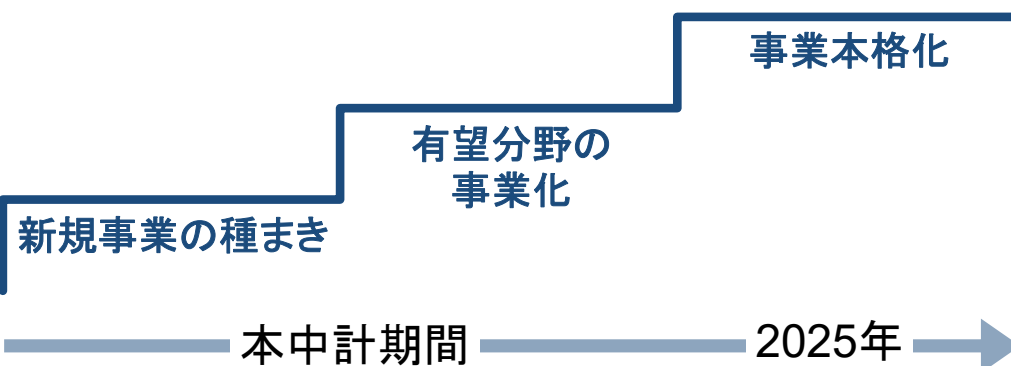


2025年に向けた中期計画

- 米国拠点を強化し、新規事業の芽を探索
 - グローバルなマーケティングや製品企画、最先端のR&Dを行う拠点
 - CVCを設立し、スタートアップとの連携を強化

有望な新規事業を短期間で立ち上げ

成長の方向性



通信分野の取り組み

Morse Micro社との資本提携および戦略的パートナーシップ Wi-Fi HaLowに対応した無線モジュールを開発／展開



IoTをターゲットに、低消費電力かつ長距離対応の新無線通信規格である「Wi-Fi HaLow」ソリューションを実現するモースマイクロ社へ出資し、戦略的提携を行うことで、通信分野において新市場の開拓や新ソリューションの開発を促進する。

◆Wi-Fi HaLow特徴

- ・長距離通信（従来のWi-Fiでは数十m程度であった通信距離が数kmで通信可能）
- ・圧倒的な伝送速度（数Mbpsの伝送速度を実現。）
- ・実証されたセキュリティとIP通信（IP通信が可能であり、TCP/IPスタックや上位アプリケーション層の流用が可能。Wi-Fiセキュリティ機能であるWAP2に加えてWAP3も使用可能。）
- ・8000ポイント以上の接続数（1つのアクセスポイントに8000以上のIoTデバイスを接続可能。）

◆ターゲットアプリケーション

スマート工場



ホームネットワーク



スマート農業



鳥獣・災害監視



産業分野の取り組み

当社が得意とする半導体集積力と、パートナー企業が得意とする機械系技術を組み合わせ、システムの小型化・軽量化・低価格化に応えるソリューションを提供

MotusLabsとの戦略的 パートナーシップ

◆MotusLabs

ロボット工学および産業オートメーション市場向けのギアリングソリューションを設計、製造、販売を手掛けているスタートアップ企業。日系メーカーを含む世界中のロボット製造会社とのコネクションを持つ。

◆特徴

- ①小型化
- ②軽量化
- ③低価格化

◆ターゲットアプリケーション

- ・産業用ロボット
- ・協調ロボット



AI分野の取り組み

エッジAI IPを手掛けるBrainchip/Quadricの2社との戦略的パートナーシップ締結により、エッジAI IPを組み込んだソリューションを提供

連携事例

BrainChip社との戦略的
パートナーシップ

■ BrainChip社が有する次世代のエッジベースAIソリューションにより、エッジAIソリューションの早期提供の実現を目指す

米国Quadric社
への出資

■ AIとDSPを混載したエッジ機器向けプロセッサにより、AI機能を搭載する製品化を目指す

◆特徴

・低消費電力、オンチップ学習、汎用性、低レイテンシ、豊富な画像処理ライブラリ群

◆ターゲットアプリケーション

・イメージプロセッシング(ブラー、背景除去 etc.)、ローカル学習、常時ONモニタリング(低消費待機)、物体検知、顔認識、動体検知、音声認証、ジェスチャ検知



IRポリシー

≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。

また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

IRポリシー

≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス
財務部

ir-team@megachips.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル

TEL: 06 - 6399 - 2884(代) FAX: 06 - 6399 - 2886